

令和7年5月30日

監査報告 (決算監査)

監事 板垣 正樹



監事 神田 千俊



令和6年4月1日から令和7年3月31日までの間における、理事の職務の執行状況について行った監査の結果は下記のとおりである。

記

1 監査の方法

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の取集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況について調査を行って当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）及び財産目録の内容について検証を行った。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録の内容についても検証を行った。

2 監査実施期間

○事業実施状況報告及びその附属明細書に関する監査

令和 6年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日

○計算書類、財産目録その附属明細書に関する監査

令和 6年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日

3 監事の意見

○事業報告及びその附属明細書に関する意見

法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

○計算書類及びその附属明細書に関する意見

適正に作成されており、法人の状況を正しく示しているものと認める。

○理事による不正の行為又は法令等に違反する行為の有無

不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実は認められない。

○個別事項に関する意見

社会福祉法人やまゆりは、令和4年9月に策定された「やまゆり中長期経営計画」にもとづき特別養護老人ホームなどの経営をされてきたところである。経営にあたっては様々な業務改善や職員の意識改革が進められ、その結果、令和6年度においては年末年始の時期にインフルエンザや新型コロナウイルス感染症が蔓延するなど利用者の減少があったに

もかわらず、事業活動による資金収支が3,400万円余の黒字となるなど経営努力の成果が現れている。

社会福祉法人やまゆりにとって老朽化が著しい特別養護老人ホームやまゆり苑の建て替えは喫緊の課題である。建て替えを考えた場合、従来の規模の経営では膨大な建設資金の確保することが極めて困難であることから事業規模の拡大は必要不可欠なものとして積極的なM&Aを展開され、出雲市内の3施設を譲り受け、令和6年度、7年度に稼働を始めたところである。これらの施設もやまゆりの経営理念に基づく運営により建設資金の確保に寄与するものと思われる。

そこで、施設の建て替えを念頭に今後の法人経営にあたっては、次の点に留意していただきたい。

(1) やまゆりブランドの確立

旧佐田町が開設したやまゆり苑は、近年、やまゆり苑を起点として稗原デイサービスを端緒に市内西新町、大社町、平田町へ進出してきところである。

複数の施設を展開する「やまゆり」が利用者主体の良好な介護サービスを提供する極めて優良な事業者であることを様々な媒体をとおして市民に周知し、やまゆりへ入所や通所を希望する人が増えるような取り組みをしていただきたい。言い換えればやまゆりブランドの確立を目指した取り組みと言える。

(2) 建て替えの検討

老朽化が進む特別養護老人ホームやまゆり苑の建て替えは喫緊の課題で、早急に方針を決定する必要があるが、建て替えにあたっては多額の借入金が必要となり、長期間にわたって返済する必要がある。

建て替えの場所や施設の規模の検討にあたっては、過去の経緯にとらわれず、将来の地域別の人口推移、特に高齢者や要介護者の見通しを、専門家を交えて検討し、長期にわたって安定的な法人経営ができるよう留意していただきたい。

(3) 経営規模の拡大

建設資金の確保の面においては、現在の経営規模では必ずしも十分とはいえず、新たな事業展開も必要と考えられる。

新たな事業展開は、金融機関等の紹介や仲介によるM&Aを念頭に施設譲り受けのメリット・デメリットを十分比較考量のうえ事業規模の拡大について引き続き取り組んでいただきたい。

4 附属資料

監事監査チェックリストの写

別表

事項	項目	監 事 意 見
業 務 管 理	定款	適正である
	管理体制	該当しない
	評議員	適正である
	理事	適正である
	監事	適正である
	理事会	適正である
	会計監査人	該当しない
	報酬等	適正である
	事業一般	適正である
	社会福祉事業	適正である
	公益事業	適正である
	収益事業	該当しない
	人事管理	適正である
	労務管理	適正である
	資産管理	適正である
	基本財産	適正である
	基本財産以外の財産	適正である
	株式保有	該当しない
	不動産の借用	適正である
	利益供与等の禁止	適正である
	充実計画	適正である
	情報公開	適正である
	苦情解決	適正である
	登記事項	適正である
	寄付	適正である
	計算書類等	適正である
	事故対応	適正である
	防災対策等	適正である
会 計 管 理	予算	適正である
	経理体制	適正である
	会計帳簿	適正である
	計算書類等	適正である
	出納	適正である
	資産、負債の基本的な会計処理	適正である

収益、費用の基本的な会計処理	適正である
内部取引	適正である
預貯金	適正である
徴収不能額	適正である
有価証券	該当しない
棚卸資産	該当しない
経過勘定	該当しない
固定資産	適正である
借入金	適正である
リース取引	適正である
引当金	適正である
基本金	適正である
決算	適切である
内部監査	適正である
預り金	適正である
運営費等の使途制限	適正である
国庫補助金等特別積立金	適正である
その他の積立金	適正である
補助金	適正である
寄附金	適正である
共通支出の配分	適正である
整合性	適正である
注記	適正である
契約	適切である
その他	特になし

組織
 項目
 定款
 定款
 定款
 決議
 反し
 1
 定款
 評議
 か
 行っ
 定款
 定款
 定款
 定款
 2
 内部
 人は
 ※
 るか
 内部
 定款
 社会
 か。
 就任